

陸前高田市における防災・減災教育及び震災伝承の主な取り組み

- 国や県との連携により整備される復興祈念公園を中核とした東日本大震災の教訓等を末永く後世に伝承する活動の展開
- グローバルキャンパスを拠点とした、防災・減災を学ぶ先進地としてのプログラム整備
- 震災の教訓を様々な機会を通じて国内外に発信

防災・減災教育

交流活動拠点「陸前高田グローバルキャンパス」を活用した防災教育の推進

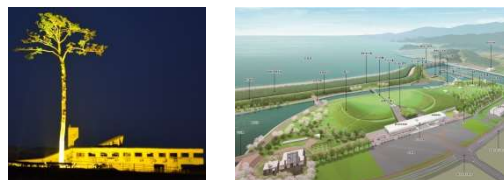
- 陸前高田市では、統合により空校舎となった旧中学校施設を活用し、岩手大学、立教大学が共同で交流活動拠点となる「陸前高田グローバルキャンパス」を設置し、国内外からの大学生や企業の社員等を対象にした震災の教訓などを踏まえた防災教育を推進。
- 大学の新入生に対し、「震災復興に関する学修」などを実施し、ワークショップやフィールドワークを通じて防災・減災に関する学習を展開するとともに、全国の企業からの社員研修の場として活用することにより、今後起こり得る災害への備えとしての知識の習得を図る。



震災伝承

復興祈念公園の整備と各地への展開

- 東日本大震災で犠牲になったすべての生命に対する追悼と鎮魂の場として復興祈念公園を整備し、あわせて、「国営追悼・祈念施設（仮称）」、「重点道の駅」、県の「津波伝承館（仮称）」を整備。
- 復興祈念公園をゲートウェイとし、市内及び県内各地の被災地へ訪問者等を誘導



震災遺構の保存と民間による伝承との連携

- 震災の伝承のため、以下の施設を遺構として保存。
 - ① 旧道の駅タピック45
 - ② 旧気仙中学校
 - ③ 旧下宿定住促進住宅
 - ④ 奇跡の一本松と旧ユースホステル
 ※ 祈念公園整備主体の岩手県とも連携
- 震災遺構の保存のみではなく、語り部や民間事業者との連携による伝承活動を展開（民間による「復興最前線ツアー」や「中・高校生の教育旅行に伴う民泊」等）。



震災の教訓等を国内及び世界に発信

- 国連が定める「世界津波の日」に、国連本部において津波への備えをテーマにしたパネル討論に出席。災害に強いまちづくりや、避難行動及び避難訓練の重要性、震災の教訓などを報告。

